



## 宮竹教授が参画した研究が農水省の「研究成果10大トピックス」に

### 3 TOPICS

Okayama University  
現在、施設野菜類での現場普及と露地での登録に向けて取り組みを進めている。宮竹教授は「飛ばないナミテントウ」は古くから農業が採用してきた育種の技術を使って開発されたもので、環境に優しい害虫防除法として期待できると話している。

飛ばないナミテントウ▶



岡山大学が参画している研究成果が昨年12月10日、農林水産省が選出する「2014年農林水産研究成果10大トピックス」に選ばれた。今回選出されたのは、

本学大学院環境生命科学研究科（農学系）の宮竹貴久教授が参画した「飛ばないナミテントウ」の育成と利用技術の開発「アブラムシ防除に強力でやさしい味方誕生」。農作物において防除が難しい害虫であるアブラムシに対して、天敵のナミテントウを有効利用。ナミテントウの中から、飛翔能力の低い個体を検出し、作物上によく定着する系統「飛ばないナミテントウ」を育成することで、従来より効率の良い「生物農薬」として利用できる。

## 岡大生は後楽園入園無料に

### 1 TOPICS



◀登録証交付式（岡山県庁にて）



岡山大学は1月から、学生が後楽園（岡山市）などに無料で入園できる「岡山後楽園キャンパスメンバーズ制度」に加入した。若者に後楽園の歴史的文化的価値を認識してもらい、岡山県を代表する観光地としての魅力を県内外へ情報発信してもらえるように設置された制度。岡大生（学部生・大学院生）は学生証を提示すれば、後楽園、岡山県立博物館、岡山県立美術館（博物館・美術館）に加入した。

入園できる。昨年12月25日には、県庁で交付式があり、伊原木隆太知事から理学部3年角谷謙斗さんに登録証が手渡された。本学は倉敷の大原美術館「学枝メンバーズ制度」にも加入。学生証を提示すれば、本館、分館、工芸・東洋館、児島虎次郎記念館を無料で観覧することができる。

館は通常展示に限る）に何度でも無料で入園できる。

岡山大学のグローバル化を考える特別講座を受講した日本人学生、留学生たちが2月12日、森田潔学長に国際化に向けた提案書を提出した。講座は、学生目線で本学の国際化を考えようと附属図書館が企画。昨年12月から今年1月まで計4回あり、日本、アメリカ、ドイツなど7カ国の学生計25人が参加した。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて、留学生にとって過ごしやすい環境づくりや海外で活躍

◀学生の提案に耳を傾ける森田学長（右奥）



▶提案書を提出する学生たち▼



## 2 TOPICS

### 学生が大学のグローバル化を協議

#### 森田学長に提案書提出

▼全員で記念撮影



できる人材をつくる方法などを協議した。提案書は全21項目。「目的に応じた専門的な英語・日本語クラスの設置」「クラブ、サークルが留学生を受け入れることを奨励する」「日本人学生と留学生の交流機会を増やすための拠点を増設する」などがある。この日は、代表の学生5人が学長室を訪問。代表して、アメリカからの交換留学生ガードナー・ハティさんが提案書を学長に手渡した。



▲佐野教授らによる男児への心臓手術▲

## 小児の先天性心臓病 難手術に成功

### 4 TOPICS

岡山大学病院は昨年12月13日、心臓の大動脈と肺静脈の位置が入れ替わる「完全大血管転位症」を患った男児（生後25日目）に対する難手術を行い、無事終了した。男児は生後14日以内であれば9割以上が成功する「完全大血管転位症」の手術を受ける予定だったが、冠動脈の異常を併せ持っていたため、手術が見送られていた。今回、小児心臓手術の豊富な実績を持つ本学に依頼があり、同12日、長野県からヘリコプターで緊急搬送。手術は、岡山大学病院心臓血管外科の佐野俊二教授らによる11人体制で行われた。

### 5 TOPICS



## 大学のPR動画制作

岡山大学企画・広報課は、米国人歌手ファレル・ウィリアムスの人気曲「Happy」に合わせて、学生、教職員が踊るミュージックビデオを制作した。YouTubeの「岡山大学チャンネル」で公開している。森田潔学長をはじめ、学生、教職員ら約300人が出演。学生2人が学長に会いに行くというストーリーで、キャンパスの楽しい雰囲気が伝わる映像に仕上げた。いちよう並木や中央図書館の時計台、鹿田地区のJホールなど、学内のさまざまな魅力的なスポットも登場する。映像時間4分で、公開期間は11月30日まで。



◀「HAPPY」岡山大学バージョン  
<https://www.youtube.com/watch?v=W-eAwPVVLOc>